

村城裕明さん『情報保障とは』（6月19配信）

こんにちは！村城です。

中学校は、ろう学校ではなく普通学校に入学しました。ろう者、障害者は私だけでした。聴者の学校に通ってました。

お願いした情報保障は、音楽と体育以外の授業で要約筆記を隣につけてほしいとお願いしました。許可が出て、定年退職後の先生に協力してもらい要約筆記をしてもらいました。

授業内容を丁寧に書いてくれるのは良いのですが、不満がありました。それは、1時間目から6時間目までずっと真面目には授業を受けられないですよね。たまには頬杖をついて授業を受けたいのですが、定年しているとはいえ元先生のため要約筆記者に注意されるのです。他の生徒は注意されないのに私だけ注意されます。ペン回しが流行った時もペンを回せば注意され、なんでもダメと言われます。とてもストレスでした。2年生からは、ボランティアの女性に代わりました。これで解放されると思ったら、この人からも注意され結果同じでした。その行為に気持ち悪さを感じました。情報保障なので、授業内容をしっかりと伝えてくれるだけでいいのに、私の授業態度を注意する必要はありませんよね。注意を受けることで本当に苦しかったです。3年間続き、卒業時に、やっと解放された感がありました。